

第64回日本臨床化学会年次学術集会
ランチョンセミナー 3

島津製作所ランチョンセミナー

抗てんかん薬の TDMの実践と測定法の特徴

座長

増田 智先 先生 (姫路獨協大学薬学部 医療薬剤学教室教授)

演者

山本 和宏 先生 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床基礎統合薬学分野教授)

日時

2024年8月30日(金) 12:10~13:00

会場

第4会場 ライトキューブ宇都宮 小会議室103+104

講演内容

特定の薬物の血中濃度を測定し、薬物血中濃度と患者の背景因子や状態を考慮して投与量を精密に管理しながら治療を行うTherapeutic Drug Monitoring (TDM) が多くの病院で標準的に実施されるようになってきた。TDMの対象薬物は、診療報酬の算定要件では単一の薬物が疾患と紐づけられて指定されているが、抗てんかん薬については、てんかんに適応を有する薬物がてんかんに対して投与される際に対象となるため、多様な薬物の薬物動態学的な特性を考慮したTDMが必要となる。また、一般的にTDMは薬物毎に確立された有効治療域を目標として薬剤の投与量を調整するが、抗てんかん薬については、患者によって治療域が異なることがあり、個別最適化がより重要となる領域である。本セミナーでは、抗てんかん薬のTDMの実践例を挙げながら、モニタリングの上での注意点や各種測定法の特徴を紹介いただく。

お問合せ

(株)島津製作所メドテック営業部 未来医療連携推進室 ダイアグノスティクスプロモーショングループ
〒604-8511 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1 TEL:075-823-1791

共催 第64回日本臨床化学会年次学術集会 / 株式会社島津製作所